国語

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
国語科
第１学年

１．教科の目標
言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	（知識・技能）
⑵社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を 養う。	（思考・判断・表現）
⑶言葉がもつ価値を認識するとともに，言語感覚を豊かにし，我が国の言語文化に関わり，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)相手や場に応じて話したり、表現の工夫などを評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりすることができるように指導を行う。	（知識・技能）
(2)目的に応じて文章を読み、自分の考えを広げることや、効果的に文章を書くことができるように指導を行う。	（思考・判断・表現）
(3)言葉の決まりを理解し、自己の語彙力を高め、伝統的な言語文化に関心を持ち主体的に学習に取り組めるよう指導を行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに，我が国の言語文化に親しんだり理解している。	定期考査，単元テスト，学習の取り組み
(2)思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを確かなものにしている。	定期考査，単元テスト，学習の取り組み
(3)主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり，思いや考えを確かなものにしたりしながら，言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに，進んで読書をし，言葉を適切に使おうとしている。	学習の取り組み，活動の観察，学習の振り返り，学習課題，小テストなど

4．年間指導計画

・授業時数　　175 時間

・教科書　　光村図書　国語１　光村図書　国語2 光村図書　中学書写

・副教材　　中学必修テキスト１　中学必修テキスト2　パワーアップネクストvol１　例文漢字１

第１学年　　国語科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	15	A話す・聞く	ア	イ		朝のリレー 声を届ける　野原はうたう 書き留める／言葉を調べる 続けてみよう 書写	詩を読み、音読を通して豊かな表現を味わうことができる。 音読や筆記、調べ学習などの基礎を固め、今後の学習の基盤を作ることができる。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 情報の整理、引用や出典のだしかたについて理解を深め、使うことができる。 事象や行為、心情を表す語句を実際に使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。	場面の展開や登場人物相の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めて整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	詩や、音読に触れる中で、自身の表現や読み方について広がりを持たせようとしている。	
４・５月	16	B書く	ア	イ		はじまりの風 季節のしおり　春 ［聞く］情報を聞き取り、要点を伝える 言葉1　音声の仕組みや働き 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする 漢字1　漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1 書写	登場人物の心情の変化や、場面の転換、展開を読み取ることができる。 読み取った情報の比較・分類を通し、情報の扱い方を身に付けることができる。 漢字の組み立てを学び、親しむ態度を身に付けることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 比較や分類など、情報の整理の方法に理解を深め、それらを使うことができる。 学年配当の漢字について語彙を増やし、文や文章の中で使うことができる。	場面の展開や登場人物相の相互関係、心情の変化などを、描写を基に捉えることができる。 日常生活の中から題材を決め、伝え合う内容を検討することができる。 話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	小説の中の登場人物と自身を重ね、深い読みや考え方を広げようとしている。 情報を活用し、適切な扱い方を会得しようとしている。 漢字の組み立てを理解し。今後の学習に活用しようとしている。	
６月	18	C読む	ア	エ		ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン　比較・分類 情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く 言葉2　指示する語句と接続する語句 書写	説明的文章を通し、要旨を捉え、筆者の論述展開を読み取ることができる。 話の構成の組み立て方を学習し、スピーチや記述など、発信の基礎を身に付けることが出きる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。また，話の構成を考えることができる。目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた内容を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
		情報の扱い方に関する事項	ア			情報収集の達人になろう コラム　著作権について知ろう	引用や読み取りなど、情報を扱う基盤を身に付けることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方を学び、引用の方法を理解して使用することができる。	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7 8月	16	言葉の特徴や使い方に関する事項	エ			空の詩 三編 ［書く］詩の創作教室 言葉3　さまざまな表現技法 比喩で広がる言葉の世界 文法への扉1　言葉のまとまりを考えよう →文法1　言葉の単位（P242-245） 語彙を豊かに 心情を表す言葉	詩を読み、豊かな言葉の広がりを体感することができる。 指事する語句や接続する語句の働きを理解し、適切に使用することができる。	事象や行為、心情などを表す語句の量を増やし、文脈上の意味と関係に注意して話や文章で使うことができる。 比喩や反復など、表現技法を理解し、使用することができる。	文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。 根拠を明確にしながら自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができる。	文章の構成や、表現の効果について積極的に考え、詩を創作している。 進んで要旨を把握し、言葉について考えを深めようとしている。 積極的にに自称や行為、心情を表す語句の稜を増やすとともに、話や文章の中で使おうとしている。	
7.8月		我が国の言語文化に関する事項	オ			読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し／西の魔女が死んだ 読書案内　本の世界を広げよう コラム　本との出会い 季節のしおり 夏 書写	読書について学び、読書に親しむことができる。 読書を通じて、語彙を増やし、自分の世界を広げることができる。	読書が、知識や情報を得るだけでなく、自分の考えを広げることに役立つこと理解することができる。	文章を読み、自分の考えを確かなものにすることができる。	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	
9月	17	C読む	イ	エ		大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう 案内文を書く ［推敲］読み手の立場に立つ 言葉4　方言と共通語 聞き上手になろう 質問で話を引き出す 漢字2　漢字の音訓 漢字に親しもう2 書写	本文を通し、作者の思いや心情を捉えることができる。 豊かな表現から、登場人物の心情や展開を捉えることができる。 方言と共通語について理解することができる。	読書を通じ、自分の考えを広げることができる。 表現技法について理解し、実際に使用することができる。 読み手の立場から自分の文章を見直し、より伝わる表現を身に付け、言語感覚を磨くことができる。	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えることができる。 場面、描写を結びつけ、内容を解釈することができる。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 進んで場面や描写を結びつけ、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	
１０月	16	B書く	イ	エ	オ	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン1　意見と根拠 根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する 漢字に親しもう3 文法への扉2　言葉の関係を考えよう →文法2　文の組み立て（P246-250） 聴きひたる　大阿蘇 季節のしおり　秋 書写	説明的文章の要旨を捉え、中心的部分や付加的な部分との表記の方法を読み取ることができる。 根拠を明確にし、自分の意見を明確にすることができる。 自分や、他者との意見の共通点・相違点などを整理し、多様な意見をふまえ話し合いの方法を学ぶことができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 情報を整理し、根拠を明確にして自分の意見を文章化し、言語感覚を磨くことができる	読み手の立場に立ち、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめ、文章を整えることができる。 文章の展開について、根拠を明確にして考えることができる。 書く内容が明確になるように段落の役割などを意識して構成や展開を考えることができる。	文章の構成や、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作している。 今までの学習を生かし、積極邸に自称や行為、心情を表す語句の稜を増やすとともに、話や文章の中で使おうとしている 課題に沿って積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１１月	17	A話す・聞く	ウ	エ	オ	古典の世界 音読を楽しむ　いろは歌 蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から 古典の言葉 今に生きる言葉 ［書く］故事成語を使って体験文を書こう 漢文を読む 書写	音読を通し、豊かな言葉の広がりを感じることができる。 古典作品を読み、連綿と続く文化に触れるとともに、古典に対する興味・関心を持つ事ができる。	文語の決まりや訓読のしかたを知り、音読を通し、古典独特のリズムや古典の世界に親しむことができる。	文章の構成や表現のしかたについて、根拠を明確にしながら考えることができる。 場面の展開や登場人物の相互の関係、心情の変化などを読み取ることができる。 文章を読んで理解したことを基に、自分の考えを明確に表現することができる。	表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 伝統的な言語文化について積極的に語感を磨き言語文化を大切にしようとしている。 古典には様々な種類の作品があることを知り、今までの学習を通して古文を朗読しようとしている。	
１２月	15	B書く	ア	ウ		「不便」の価値を見つめ直す ［書く］筆者の主張に対する自分の意見を書こう 思考のレッスン2　原因と結果 漢字に親しもう4 ［話し合い（進行）］進め方について考えよう 季節のしおり　冬 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	本文を読み，筆者の意見を捉えた上で自身の生活との関連を考えることができる。 根拠を明確にして、自分の意見を的確に伝えることができる。 言葉の関係を整理し、適切な言葉を使うことができる。	論の中心や付加的な部分を分類し、要旨を捉えることができる。 言葉の単位について理解することができる。	必要な情報を要約し、内容を解釈することができる。 文章を読んで理解したことを基に、考えを根拠を明確にして伝えることができる。 根拠の明確さなど、自分の文章の良い点や改善点を見いだすことができる。	積極的に必要な情報に着目し、要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点などをすすんで見出し、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。	
		我が国の言語文化に関する事項	オ			研究の現場にようこそ 四百年のスローライフ／はやぶさ2 最強ミッションの真実 読書案内　本の世界を広げよう 書写	筆者の論を読み取り、自身と重ねて考えることができる。	読書に親しみ、自分の考えを広げることに役立つことを理解することができる。	文章を読み、自分の考えを確かなものにすることができる。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
１月	15	C読む	ア	イ		少年の日の思い出 ［書く］別の人物の視点から文章を書き換えよう 漢字に親しもう5 文法への扉3　単語の性質を見つけよう →文法3　単語の分類（P251-254） 二十歳になった日 書写	登場人物の心情の変化や場面の転換、展開を読み取ることができる。 海外文学を読み、日本の文学との違いを楽しむことができる。 単語を適切に分類し、言葉の構成について理解することができる。	事象や行為、心情などを表す語句の量を増やし、文脈上の意味と関係に注意して話や文章で使うことができる。 比喩や反復など、表現技法を理解し、使用することで語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 単語の分類について理解することができる。	文章の構成や表現のしかたについて、根拠を明確にしながら考えることができる。 場面の展開や登場人物の相互の関係、心情の変化などを読み取ることができる。 文章を読んで理解したことを基に、自分の考えを明確に表現することができる。	文藻の構成や展開、表現の効果について積極的考え、学習の見通しをもって別の視点から文章を書き換えようとしている。 今までの学習を生かして、積極的に単語の分類について理解しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
２月	15	B書く	ウ			構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 漢字3　漢字の成り立ち 一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表するぼくが　ここに 書写	これまでに学習した内容を踏まえ、表現や描写を駆使し、文章を書くことができる。	心情や行為を表す語句の寮を増やし、文章の中で使うことで語感を磨き、語彙を増やすことができる。 表現技法を理解し、文章内で使うことができる。	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、内容を検討して明確に伝えることができる。 記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 積極的に表現の技法を理解し、課題に沿ってそれを使おうとしている。	
３月	15	C読む	ア	イ		アイスプラネット 多様な方法で情報を集めよう 漢字I 毛筆 枕草子（を二月からできるよう調整） 書写	登場人物の心情の変化を捉え、心情の表現を読み取ることができる。より広く情報を集める方法を学ぶことができる。 随筆を読み、古来の日本人の感性や考えを読み取り、現代のものの見方や考えに思いをはせることができる。	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること ができる。	文章全体と部分との関係に注 意しながら，登場人物の設定 のしかたなどを捉えることができる。	言葉がもつ価値を認識すると ともに，読書を生活に役立て，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。	

社会

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
社会科
第１学年

１．教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して， 広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家 及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

⑴我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
⑵社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断した ことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	（思考・判断・表現）
⑶社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の達成するための指導の留意点

(1)基礎的・基本的な知識を習得させながら，既存の知識を実生活や昨今の情勢と関連付けることで，個別の知識の定着を図るとともに，社会において様々な場面で活用できるように知識を概念として獲得できるようにする。また，ICT機器を活用して課題解決に必要な情報資料を自分で考えて収集させたり，収集した情報を社会的な見方・考え方を働かせて読解・分析したり，収集して読み取った情報を整理して課題解決に向けてまとめていく作業を繰り返し行い，情報活用技能を向上させていく。	（知識・技能）
(2)社会的事象個々の仕組みや働きを理解するにとどまらず，社会的事象自体のもつ「多面性」と社会的事象をとらえる時の「多角性」を踏まえて考察させていく。特に現実社会で起こる多種多様な課題を積極的に取り上げ，自分の意見を持たせた上で，他の生徒や社会に存在する様々な立場の意見を検討したり，議論を行っていくことで，自分の意見を根拠を持って再構成したり，表現することができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)社会的事象と実生活が関連した教材を積極的に取り上げることで，生徒が主体的に課題解決に取り組む必要性を感じ，意欲的に課題解決に取り組めるようにする。また，日本の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等について多面的・多角的な考察し，それらの事象について深く理解することで，主権者として自覚を深め，よりよい社会の実現に貢献するために学び続けようとする姿勢を養っていく。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域や歴史の大きな流れを理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期考査，単元テスト，学習の取り組みなど
(2)思考・判断・表現	地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，地理的，歴史的な課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	定期考査，単元テスト，学習の取り組みなど
(3)主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる事象や歴史に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	学習の取り組み，活動の観察，学習の振り返り，学習材，小テストなど

４．年間指導計画

・授業時数　　105 時間

・教科書　　・新しい社会　地理（東京書籍）・新しい社会　歴史（東京書籍）

・副教材　　・作業する資料集　アクティブ地理総合（浜島書店）　・中学歴史資料集　学び考える歴史【広島県版】（浜島書店）
・教科書対応ワーク　地理の完全学習Ｉ（正進社）　・教科書対応ワーク　歴史の完全学習Ｉ（正進社）

第Ｉ学年　　社会科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月～５月	13	地理	A	(1)		世界と日本の地域構成 ：地域構成	・位置や分布などに関わる視点に着目して，地域構成の特色を多面的・多角的に考察し，表現することができる。	・緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し，理解できる。 ・我が国の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解できる。	・世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現できる。	・世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
５月～６月	10	地理	B	(1)		世界のさまざまな地域 ：人々の生活と環境 ・気候 ・生活/文化 ・宗教	・場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目し，世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件に関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，世界の人々の生活や環境の多様性，それらの相互依存関係について主体的に追究することができる。	・人々の生活は，その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり，その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解できる。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に，世界の人々の生活や環境の多様性を理解できる。 ・世界の主な宗教分布について理解できる。	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し，表現できる。	世界各地の人々の生活と環境について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
６月～７月	3	歴史	A	(1)		歴史へのとびら ：歴史をとらえる見方・考え方	・小学校で学習した人物や文化財，歴史上の出来事などと時代区分との関わりについて，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して主体的に追究することができる。	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解できる。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり，年表などにまとめることができる。	・時代や年代，推移，現在の私たちとのつながりなどに着目して，小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財，出来事などから適切なものを取り上げ，時代区分との関わりなどについて考察し表現できる。	・私たちと歴史について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
７月～８月	4	歴史	A	(2)		歴史へのとびら ：身近な地域の歴史	・身近な歴史における歴史上の出来事や具体的な事物・情報に関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，日常の空間的な広がりの中で実感的に捉えるとともに，主体的に解決・追究することができる。	・具体的な事柄との関わりの中で，地域の歴史について調べたり，収集した情報を年表などにまとめることができる。	・比較や関連，時代的な背景や地域的な環境，歴史と私たちとのつながりなどに着目して，地域に残る文化財や諸資料を活用して，身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し，表現できる。	・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって，身近な地域の歴史について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
８月～１０月	22	歴史	B	(1)		近世までの日本と東アジア ：古代までの日本 ・世界の古代文明や宗教のおこり ・日本列島の誕生と大陸との交流 ・古代国家の歩みと東アジア世界	・世界各地で文明が築かれたことや東アジアの文明の影響を受けながら，我が国で国家が形成されたことなどに関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，文明や宗教の特徴や，農耕の広まりが生活や社会に与えた影響などを主体的に追究することができる。 ・東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇や貴族による政治が展開されたことに関する問いを設定し，東アジアの動きが政治に影響を与えたことを主体的に追究することができる。 ・国際的な要素をもった文明が栄え，それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことなどに関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，東アジアの動きが文化に与えた影響などを主体的に追究することができる。	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に，世界各地での文明が築かれたことを理解できる。 ・日本列島における農耕の広まりと，生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解できる。 ・律令国家の確立に至るまでの過程，摂関政治などを基に，東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇や貴族による政治が展開したことを理解できる。 ・仏教の伝来とその影響，仮名文字の成立などを基に，国際的な要素をもった文化が栄え，それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解できる。	・古代文明や宗教が起こった場所や環境，農耕の広まりや生産技術の発展，東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・古代までの日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現できる。	・古代までの日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１０月～１月	35	地理	B	(2)		世界のさまざまな地域 ：世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	・空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して,世界の各地域で見られる地球的課題の要因やその影響に関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，世界の各州の地域的特色やそこで見られる地域的課題と地域的特色の関係について主体的に追究することができる。	・世界各地で顕在化している地球的課題は，それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて，現れ方が異なることを理解できる。 ・各地域に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解できる。	・各地域において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現できる。	・各地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
１～３月	18	歴史	B	(2)		近世までの日本と東アジア ：中世の日本 ・武家の政権の成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・武士が台頭して武家政権が成立し，その支配が広まったことや，ユーラシアの変化の中で元寇がおこったことなどに関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，武家政治の特徴を主体的に追究することができる。 ・武家政治の展開とともに，この時代に東アジア世界との密接な関わりが見られたことに関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，この時代の武家政治の動きとその特徴や，東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響などを主体的に追究することができる。 ・民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことに関する問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，民衆の成長が社会に影響を与えたことを主体的に追究することができる。	・鎌倉幕府の成立，元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に，武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったこと，元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解できる。 ・南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などを基に，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接な関りが見られたことを理解できる。 ・農業など諸産業の発達，畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立，武士や民衆などの多様な文化の形成，応仁の乱後の社会的な変動などを基に，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解できる。	・武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の様子を多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現できる。	・中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

数学

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
数学科
第１学年

１．教科の目標
　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したりして，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の課程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式と不等式と連立方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に着けるようにする。	（知識・技能）
(2)数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式と不等式と連立方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。また、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的表現・処理したりする技能を身に付けている。	小テスト、単元テスト、課題テスト、定期考査
(2)思考・判断・表現	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	LISIゼミ、単元テスト、課題テスト、定期考査
(3)主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。	毎日課題、活動の観察、PDCAシート、解きなおしプリント

４．年間指導計画

・授業時数　　175 時間

・教科書　　「中学校数学１」　「中学校数学２」

・副教材　　「体系問題集代数編１」　「体系問題集幾何編１」

第１学年　　数学科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4、5月	27	A数と式	(1)			正の数・負の数	正の数と負の数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察し表現することができる。正の数と負の数について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	正の数と負の数の必要性と意味、自然数や整数、素数、正の数と負の数の大小関係、符号、絶対値の意味を理解している。 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 1より大きい自然数を素因数分解することができる。	数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 自然数を素数の積として表すことにより、約数、倍数などの整数の性質について捉え直すことができる。	正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
6月	16	A数と式	(2)			文字式	文字を用いた式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。文字を用いて数量の関係や法則などを考察し表現することができる。文字を用いた式について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	文字を用いることの必要性と意味を理解している。 簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。	具体的な場面と関連付けて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。	文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7月	17	A数と式	(3)			1次方程式	1元1次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 文字を用いて数量の関係や法則などを考察し表現することができる。 1元1次方程式について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	簡単な1元1次方程式を解くことができる。 事象の中の数量やその関係に着目し、1元1次方程式をつくることができる。 簡単な比例式を解くことができる。	等式の性質を基にして、1元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 1元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
9月	16	A数と式 （高校内容）	ア	（エ）		不等式	1次不等式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 文字を用いて数量の関係や法則などを考察し表現することができる。 1次不等式について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	簡単な1次不等式を解くことができる。 簡単な連立不等式を解くことができる。 事象の中の数量やその関係に着目し、不等式をつくることができる。	不等式の性質を基にして、1次不等式を解く方法を考察し表現することができる。 不等式を具体的な場面で活用することができる。	不等式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 不等式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
10月	21	C関数	(1)			比例と反比例	比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察し表現することができる。 比例と反比例について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	関数関係の意味を理解している。 変数、変域の意味を理解している。 比例、反比例について理解している。 座標の意味を理解している。 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
11月	19	B図形	(1)			平面図形	平面図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察し表現することができる。平面図形について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	平面における直線と直線の位置関係について理解し、記号⊥などを用いて表すことができる。	基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考察し表現することができる。	平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
12月	19	B図形	(2)			空間図形	空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察し表現することができる。空間図形について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	おうぎ形の弧の長さと面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積を求めることができる。 基本的な柱体や錐体、球の体積を求めることができる。	空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 立体図形の表面積、体積の求め方を考察し表現することができる。	空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 空間図形を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1月	16	Dデータの活用	(1)			データの活用	データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりし表現することができる。データの活用と確率について、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身に付ける。	コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。	目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	データの分布や不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ヒストグラムや相対度数、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
2月	9	Dデータの活用	(1)			データの比較	・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ・ヒストグラムや四分位範囲、箱ひげ図などを用いて、データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することが出得きる。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、データの分析について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。	
2、3月	15	A数と式	(2)			連立方程式	連立2元1次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。文字を用いて数量の関係や法則などを考察し表現することができる。連立2元1次方程式について、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を身に付ける。	簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 事象の中の数量やその関係に着目し、連立2元1次方程式をつくることができる。	1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	

理科

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
理科
第１学年

１．教科の目標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察， 実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)自然の事物・現象について理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)自然の事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査、小テスト、実技テスト、観察、実験レポート
(2)思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期考査、小テスト、レポート
(3)主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	自主学習ノート、行動観察、振り返りシート

4．年間指導計画
・授業時数　　105 時間
・教科書　　未来へひろがるサイエンス

・副教材　　理科の完全学習１年　中学実力練成テキスト　理科１年

第１学年　　理科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月 ５月 ６月	22	第２分野	(1)	(ア) (イ)	㋐ ㋑ ㋐	生物の観察 生物の特徴と分類の仕方 植物の体の共通点と相違点	身近な植物の外部形態の観察を行い，その観察記録などにもとづいて，共通点や相違点があることを見いだして，植物の体の基本的なつくりを理解する。また，その共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解することができる。 植物に対する興味・関心をもち，植物を観察するときにどのような点に注目すればよいかを考える力を身につける。	いろいろな植物の共通点と相違点に着目しながら，植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	植物の体の共通点と相違点についての観察，実験などを通して，いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに，植物を分類するための観点や基準を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(1)	(イ)	㋑	動物の体の共通点と相違点	身近な動物の外部形態の観察を行い，その観察記録などにもとづいて，共通点や相違点があることを見いだして，動物の体の基本的なつくりを理解する。また，その共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解することができる。 動物に対する興味・関心を高め，動物を観察するときにどのような点に注目すればよいかを考える力を身につける。	いろいろな動物の共通点と相違点に着目しながら，動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	動物の体の共通点と相違点についての観察，実験などを通して，いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに，動物を分類するための観点や基準を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
７月 ８月 ９月 １０月	30	第１分野	(2)	（ア）	㋐	身の回りの物質とその性質	身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる実験を行い，物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに，ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作，記録のしかたなどの技能を身につける。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	物質のすがたについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(2)	（ア）	㋑	気体の発生と性質	気体を発生させてその性質を調べる実験を行い，気体の種類による特性を理解するとともに，気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	物質のすがたについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(2)	（イ）	㋐	水溶液	物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を，粒子のモデルで理解する。また，水溶液から溶質を取り出す実験を行い，その結果を溶解度と関連づけて理解することができる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	水溶液について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究することができる。	水溶液に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(2)	（ウ）	㋐ ㋑	状態変化と熱 物質の融点と沸点	物質の状態変化についての観察，実験を行い，状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。また，物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに，混合物を加熱する実験を行い，沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解することができる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，状態変化と熱，物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	状態変化について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	状態変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１０月 １１月 １２月 １月	28	第１分野	(1)	(ア)	㋐ ㋑	光の反射・屈折 凸レンズの働き	光の反射や屈折の実験を行い，光が水やガラスなどの物質の境界面で反射，屈折するときの規則性を見いだす。また，凸レンズのはたらきについての実験を行い，物体の位置と像の位置および像の大きさや向きの関係を見いだす。	光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，光の反射や屈折，凸レンズのはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	光について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，光の反射や屈折，凸レンズのはたらきの規則性や関係性を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	光に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(1)	(ア)	㋒	音の性質	音についての実験を行い，音はものが振動することによって生じること，音は波として空気中を約340m/sの速さで伝わること，および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。	音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	音について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，音の性質の規則性や関係性を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	音に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(1)	(イ)	㋐	力の働き	物体に力をはたらかせる実験を行い，物体に力がはたらくとその物体が変形したり，動き始めたり，運動のようすが変わったりすることを見いだすとともに，力は大きさと向きによって表されることを理解する。また，2力のつり合いの実験を行い，1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだし理解する。	力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	力のはたらきについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１月 ２月 ３月	25	第２分野	(2)	(ア)	㋐	身近な地形や地層、岩石の観察 地層の重なりと過去の様子	身近な地形などの観察を通して，大地の成り立ちなどを理解する。観察器具の基本的な扱い方などを身につける。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，身近な地形や地層，岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	身近な地形や地層，岩石の観察について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	身近な地形や地層，岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(2)	(イ)	㋑	地震の伝わり方と地球内部の働き	地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し，記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。また，地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	地震について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	地震に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(2)	(ウ)	㋐	火山活動と火成岩	さまざまな火山の活動などを調べ，それらのようすはマグマの性質が深く関係していることを考察するとともに，マグマからできる火成岩の特徴を，成因と関連づけて理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，火山活動と火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	火山について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	火山に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(2)	(エ)	㋐	自然の恵みと火山災害・地震災害	地層の重なり方や広がり方の規則性を捉え，構成する岩石や化石をもとに，地層が堆積した時代や当時の環境を推測することを通じて，地層のでき方を理解する。また，プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的に捉え，大地からの恵みや災害について理解する。	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，地層の重なりと過去のようす，自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	地層の重なりと過去のようす，自然の恵みと火山災害・地震災害について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性，火山活動や地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現するなど，科学的に探究することができる。	地層の重なりと過去のようす，自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

音楽

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
音楽科
第１学年

１．教科の目標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽に親しんでいく態度を養い，豊かな情操を培う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)「音楽の構造」を捉えることとを関連付けて指導を行い、音楽を形作っている要素との関りの中で捉えていくことのできるものとして設定する	（知識・技能）
(2)「音楽を形づくっている要素」の部分は、音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの中から、その題材の学習内容を踏まえて適切に選択して置き換える。	（思考・判断・表現）
(3)「楽しみながら取り組んでいるか」を評価するものではなく、あくまで、主体的、協同的に取り組む際に「楽しみながら」取り組めるように指導を工夫する必要があることを示唆している。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	実技試験・小テスト等
(2)思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととことの関わりについて思いや意図を持ったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている	実技試験・小テスト等
(3)主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験・グループ発表時の取り組み

4．年間指導計画
・授業時数　　45 時間
・教科書　　教育芸術社「中学生の音楽　Ⅰ年」
・副教材　　中学生の器楽、コーラスフェスティバル、音楽のワークⅠ年

第Ⅰ学年　　音楽科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	3	A表現	(1)歌唱の活動	ア	ウ	思いをこめて合唱しよう 「We`ll Find The Way」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	（思）音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	（態）曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
５月	3	A表現	(1)歌唱の活動	ア	ウ	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 「主は冷たい土の中に」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに，それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う	（知） 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 （技） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	（思）旋律，形式，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	（態）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
５月	3	A表現	(2)器楽の活動	ア	ウ	曲想を感じ取って，器楽表現を工夫しよう 「聖者の行進」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに，それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	（知） アーティキュレーションがもたらす効果について理解している。 （技） 創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け，器楽で表している。	（思）音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	（態）曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
6月	3	B鑑賞	(1)鑑賞の活動	ア	イ	音楽の特徴に着目しながら、情景を思い浮かべよう 『四季より「春」』	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	（知）曲想と音楽の構造と関りについて理解している。	（思） 音色，旋律，テクスチュア，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	（態）曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7月	4	A表現	(3)創作の活動	ア	ウ	思いを込めて、発表しよう 「文化祭での発表」	音楽の特徴を理解し、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽を作る。	（知）曲想と音楽の内容との関りについて理解している。 （技）創意工夫した表現を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	（思）音楽を形作っている要素を知覚し、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことが出来るよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
９月	4	A表現	(1)歌唱の活動	ア	(3)創作の活動	日本の歌の良さや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 「赤とんぼ」「浜辺の歌」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現が出来る	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 （技） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	（思） リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	（態）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
１０月	4	A表現	(1)歌唱の活動	ア	イ	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 「合唱祭に向けて」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えること。	（態）曲想と音楽に関心を持ち、音楽活動を主体的・協同的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	
１１月	5	A表現	(1)歌唱の活動	ア	イ	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 「合唱祭」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	（態）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	
１２月	4	A表現	(1)鑑賞の活動	ア	ウ	イメージと音楽との関りを感じ取ろう 「映画音楽について」	音楽の特徴と、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く	（知） 音素材の特徴及び音の重なり方や反復，変化，対照などの構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 （技） 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け，創作で表している。	（思） 音色，リズム，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	（態）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1月	4	A表現	(2)器楽の活動	ア	イ	日本に古くから伝わる音楽に親しみ、その魅力を味わおう 「箏について」	箏の音色や余韻の変化を生み出す奏法、「平調子」による旋律など、箏曲の特徴を感じ取ることが出来る。	（知）曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解している。	（思）音色，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	（態）音や音楽、音楽文化に親しむことが出来るよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
２月	4	A表現	(1)歌唱の活動	ア	（ウ）	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	曲想と音楽のとの関りについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く	[知］曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思］音色，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている	[態］曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
３月	4	A表現	(3)創作の活動	ア	ウ	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽を作る	[知］音のつながり方の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 [技］創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け，創作で表している。	[思］リズム，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	[態］※音のつながり方の特徴に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	

美術

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
美術科
第１学年

１．教科の目標
　表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	（知識・技能）
(2)造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生み出した豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)美術の創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を育み，感性を豊かにし，心豊かな生活を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)造形的な要素とは何か、具体的に説明するとともに表現方法を創意工夫しながら創造的に表わせるよう指導する。	（知識・技能）
(2)参考作品などを例に挙げ、造形的な美しさ、表現の意図や方法などについて、相互鑑賞させ、各自の意見を述べるよう指導する。発想や構想を練ったりするためのアイディアスケッチ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるよう映像や資料などを鑑賞させる。	（思考・判断・表現）
(3事前に参考作品や参考映像・資料を提示することで意欲を高める。また生徒の完成作品について、相互鑑賞や全体鑑賞を行い、お互いの作品の良さを理解するとともにプレゼンテーション能力を高める。また、鑑賞まとめプリントなどで振り返りを行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し，創造的に表している。	作品、ワークシート、まとめプリント
(2)思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、ワークシート、まとめプリント
(3)主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている	ワークシート、授業態度、作品、まとめプリント

4．年間指導計画
・授業時数　　45　時間
・教科書　　光村図書　美術Ⅰ
・副教材　　秀学社　美術資料　広島県

第Ⅰ学年　　美術科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4月	1	B鑑賞	(1)	ア	(ア)	オリエンテーション うつくしい！ うつくしい！を探してみよう	身近なものがもつ美しさやよさに関心をもつ。教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもつ。	身近なものがもつ美しさやよさについて造形的な視点から理解している。教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもっている。	身近なものがもつ美しさやよさについて造形的な視点から考え、美術的な価値観について考察している。	鑑賞の喜びを味わい，身近なもののよさや美しさを感じ取るよう主体的に学習活動へ取り組もうとしている。	
4月	1	B鑑賞	(1)	ア	(ア)	オリエンテーション 教科書を活用しよう 美術の扉を開こう	美術を学習することの大切さを学ぶ。 教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもつ。	美術を学習することの大切さ理解している。教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもっている。	美術を学習することの大切さや学習内容について考え、その価値観について考察している。	美術を学習することの大切さについて考察し、主体的に学習活動へ取り組もうとしている。	
4月 5月 6月	8	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	アアアイ	(ア) (ア) (イ) (ア) (ア)	見つめ，感じ取り，描く	身近なものを見つめ，感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて，材料や用具を工夫して描く。身近なものを描いた作品を鑑賞し，さまざまな表現の工夫を感じ取る。	形や色，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴をもとに，身近なものを全体のイメージで捉えることを理解している。自分のあらわしたいものに合った材料や用具を選択し，意図に応じて工夫してあらわしている。	身近なものを見つめ，感じ取った特徴や，ものに託した自分の思いなどをもとに主題を生み出し，全体と部分との関係などを考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく身近なものを描いた作品からさまざまな表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
6月	2	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	イアアイ	(イ) (ア) (イ) (ア) (イ)	気持ちを伝えるデザイン	誰に，どんな気持ちを伝えるかをもとに発想を広げ，工夫してデザインする。作品を鑑賞し，気持ちを伝えるための工夫を感じ取る。	形や色，材料の性質などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴をもとに，気持ちを伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。紙などの材料や用具を生かして，機能に応じて，制作の順序を考え，見通しをもってあらわしている。	伝える相手や，伝えたい気持ちをもとに主題を生み出し，伝えたい内容を形にあらわすエ夫と美しさなどとの調和を考え，表現の構想を練っている。伝達の効果と美しさの調和を感じ取り，気持ちを伝えるための作者の工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく気持ちを伝えるためにデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく気持ちを伝えるための工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
7月	2	B鑑賞	(1)	ア	(ア)	美術鑑賞を楽しむ手がかり	美術館について学び、美実作品の良さや価値観について学習する。	美術館にある作品の美しさやよさについて造形的な視点から理解している。美術館の仕組みを理解している。	美術館にある作品を鑑賞することの大切さを考え、その価値観について考察している。	美術作品の価値を理解するとともに観賞することの大切さについて考察し、主体的に鑑賞へ取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
８月 ９月	5	B鑑賞	(1) (1)	ア イ	(ア) (イ)	「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう	風神雷神をあらわした作品を比較して鑑賞し，それぞれのよさや違いについて話し合う。また，屏風の特性や鑑賞のしかたを理解して，作品の見方や感じ方を広げる。	形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，作品の造形的な特徴，屏風などの表現形式などをもとに，日本の美術文化を全体のイメージや作風で捉えることについて理解している。	風神雷神をテーマにした諸作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，それぞれの作品の共通点や違い，屏風の特性などを考えるなどして，日本美術についての見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく日本の美術文化を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。	
１０月 １１月	9	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	イ ア ア イ	(イ) (ア) (イ) (イ) (ア) (イ)	文字で楽しく伝える 絵文字で表現する	伝える相手と内容を考えて発想を広げ，形や色を工夫して文字をデザインする。デザインされた文字を鑑賞して，作者の表現の意図や工夫を感じ取る。	文字の形や色，構成などが見る人に与える効果について理解している。ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし，制作の順序を考え，見通しをもってあらわしている。	伝える相手や伝えたい内容などをもとに主題を生み出し，わかりやすさと美しさなどとの調和を考え，表現の構想を練っている。デザインされた文字から，伝達の効果と美しさなどを感じ取り，作者の表現の意図や工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく文字に込められた表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
１２月	3	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	ア ア イ	(ア) (ア) (イ) (ア) (ア)	心ひかれるこの風景	自分が心ひかれる風景を見つけ，そのときの気持ちをどのようにあらわすか考えて，工夫して描く。作品を鑑賞し，その風景を描いた作者の思いや表現の工夫を感じ取る。	身近な風景の形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，心ひかれる風景を全体のイメージで捉えることについて理解している。自分のあらわしたい気持ちや，描きたいイメージに合った材料や用具を選択し，意図に応じて工夫してあらわしている。	自分が心ひかれる風景を見つけ，そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し，全体と部分との関係などを考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。描かれている風景の造形的なよさや美しさを感じ取り，その風景を描いた作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく自分が心ひかれる風景を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく風景を描いた作者の思いや表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
１２月	2	B鑑賞	(1) (1)	ア イ	(イ) (ア)	印象に残るロゴマーク	ロゴマークに関心をもち、表す対象のイメージや伝えたい内容をもとに主題を生み出す。形や色彩、構成などを考察する。作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色彩が見る人に与える効果を理解し、見通しをもってあらわしている。	対象から受けるイメージをもとに主題を見つけ、効果的な表現の構想を練っている。	自分の考えや見方を大切にして、デザインの構想を練ったり、作品を鑑賞したりする活動に楽しく取り組もうとしている。	
１月 ２月 ３月	12	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	ア ア イ	(ア) (ア)(イ) (ア) (ア)	世界の仮面と出会う 紙粘土立体表現	世界各国の仮面を鑑賞し，それぞれのよさや美しさ，違いや共通点などを感じ取る。 感じたことや考えたことを話し合い，他者の考えに関心をもち，作品の見方を深める。	形や色，材料などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，世界各国の仮面を全体のイメージで捉えることについて理解している。	世界各国でつくられた仮面の造形的なよさや美しさを感じ取り，形や色，材料などの共通点や違いなどについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく世界各国の仮面の造形的な共通点や相違点を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

保健体育(女子)

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
保健体育科
第１学年（女子）

１．教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習 過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。	（主体的に学習に 取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解させるとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けさせるようにする。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解させるとともに，基本的な技能を身に付けさせるようにする。	（知識・技能）
(2)自己や仲間の課題を発見させ，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫させるとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。また，個人生活における健康に関する課題を発見させ，その解決を目指して科学的に思考させ判断させているとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組めるようにする。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組めるようにする。	（主体的に学習に 取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに，基本的な技能を身に付けている。	実技テスト・筆記テスト
(2)思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それらを他者に伝えている。また，個人生活における健康に関する課題を発見し，その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに，それらを他者に伝えている。	実技テスト・筆記テスト ノート
(3)主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習プリント

4．年間指導計画

・授業時数　105 時間

・教科書　最新中学校保健体育（大修館書店）

・副教材　ステップアップ中学体育

第１学年（女子）　保健体育科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	7	体育分野	A体つくり運動	1.2年	ア、イ	体つくり運動	・自分の体の状態や変化に気付き、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。 ・体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用する。 ・体ほぐしの運動の意義とその行い方を理解する。	○知識 ・体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などについて理解することができる。	・自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。。	・体つくり運動に積極的に取り組もうとするとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
6～7月	12	体育分野	C陸上競技	1.2年	ア、イ	短距離走・リレー 走り幅跳び	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目のルール、競技や審判の方法を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・短距離走・リレーでは，滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。 ・走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
5～7月	10	体育分野	D水泳	1.2年	ア	クロール	・続けて長く泳いだり、速く泳いだり、あるいは、競い合ったりする水泳の楽しさや喜びを感じる。 ・続けて長く泳いだり、速く泳いだりするための目標記録や課題を設定する。 ・泳法の特性に応じた技能を活用して泳ぐ。 ・競技やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・水泳について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・水泳に積極的に取り組もうとするともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
8～9月	10	体育分野	Gダンス	1.2年	イ	フォークダンス	・互いの動きのよさ、感じ方や表現のよさなどを認め合って、誰とでも楽しく踊る。 ・テーマに合った動きを構成したり、踊り方の課題をとらえたり、動きに変化を付けて踊る。 ・みんなで動きを合わせる、調子を合わせるなど、仲間とのかかわりをもって踊る。 ・ダンスは、集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や、学習の進め方を理解する。	○知識 ・ダンスについて，感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・ダンスに積極的に取り組もうとするとともに，仲間の学習を援助しようとすること，交流などの話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	α
9～10月	13	体育分野	B器械運動	1.2年	ア	マット	・技がよりよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを感じる。 ・練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、自己や仲間の技のできばえを評価する。 ・習得した技を繰り返したり、条件を変えて行う。 ・器械運動の楽しみ方や学習の進め方、技の系統性や発展性を理解する。	○知識 ・器械運動について，技ができる楽しさや喜びを味わい，器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・マット運動では，回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	・技などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・器械運動に積極的に取り組もうとするとともに，よい演技を認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
11～12月	12	体育分野	E球技	1.2年	イ	ネット型 テニス	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
12～1月	10	体育分野	C陸上競技	1.2年	ア	長距離走	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目の特性や自分の能力に適した練習の方法や、競技の仕方を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・長距離走では，ペースを守って走ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1～2月	12	体育分野	E球技	3年	ア	ゴール型 バスケットボール	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
通年	3	体育分野	H体育理論	(1)		運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの必要性と楽しさ ・運動やスポーツへのかかわり方 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方	・運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解する。 ・運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解する。 ・世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したりすることが大切であることを理解する。	・運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解することができる。 ・運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解することができる。 ・世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したりすることが大切であることを理解することができる。	・運動やスポーツが多様であることについて，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに，他者に伝えることができる。	・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。	
4～6月	4	保健分野	(1)	ア(ｱ)，(ｲ)，イ	1年	調和のとれた生活 ・健康の成り立ち ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	・健康は，主体と環境の相互作用のもとに成り立っていること。また，疾病は，主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生することを理解する。 ・健康の保持増進には，年齢と生活環境等に応じた運動が必要なことを理解する。 ・健康の保持増進には，年齢や生活環境等に応じた食事が必要なことを理解する。 ・健康の保持増進には，年齢と生活環境等に応じた休養及び睡眠が必要なことを理解する。	・健康は，主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また，疾病は，主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解することができる。 ・健康の保持増進には，年齢，生活環境等に応じた運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解することができる。	・調和のとれた生活について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。	・調和のとれた生活についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7～3月	12	保健分野	(2)	ア、イ	1年	心身の発達と心の健康 ・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発育・発達 ・生殖にかかわる働きの成熟 ・性への関心と行動 ・知的機能・情意機能の発達 ・社会性の発達と自立 ・自己形成 ・欲求とその充足 ・心と体のかかわりとストレス ・ストレスへの対処のしかた ・リラクセーションの方法（実習）	・身体には，多くの器官が発育・発達する時期があり，その時期や程度には個人差があることを理解する。 ・呼吸器・循環器は思春期に発育・発達し，運動やスポーツがそれをうながすことを理解する。 ・思春期には，内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することを理解する。 ・思春期には，生殖機能の成熟にともなう変化に対応した，適切な行動が必要となることを理解する。 ・知的機能，情意機能，社会性などの精神機能は，生活経験や学習などの影響を受けて発達することを理解する。 ・思春期には、家族関係や友人関係によって社会性が育まれ、自立しようとする傾向が強くなることを理解する。 ・思春期においては，自己の認識が深まり，自己形成がなされることを理解する。 ・欲求にはさまざまな種類があり，その実現に取り組んだり，欲求不満に対して対処する必要があることを理解する。 ・心と体は，密接な関係にあり，相互に影響を与え合っていることを理解する。 ・心の健康を保つには，欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解する。・リラクセーションの方法を理解する。	・身体には，多くの器官が発育し，それに伴い，様々な機能が発達する時期があること。また，発育・発達の時期やその程度には，個人差があることを理解することができる。 ・思春期には，内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また，成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解することができる。 ・知的機能，情意機能，社会性などの精神機能は，生活経験などの影響を受けて発達すること。また，思春期においては，自己の認識が深まり，自己形成がなされることを理解することができる。 ・精神と身体は，相互に影響を与え，関わっていること。欲求やストレスは，心身に影響を与えることがあること。また，心の健康を保つには，欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに，それらに対処する技能を身に付けることができる。	・心身の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。	・心身の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

保健体育(男子)

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
保健体育科
第１学年（男子）

１．教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習 過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。	（主体的に学習に 取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解させるとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けさせるようにする。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解させるとともに，基本的な技能を身に付けさせるようにする。	（知識・技能）
(2)自己や仲間の課題を発見させ，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫させるとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。また，個人生活における健康に関する課題を発見させ，その解決を目指して科学的に思考させ判断させているとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組めるようにする。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組めるようにする。	（主体的に学習に 取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに，基本的な技能を身に付けている。	実技テスト・筆記テスト
(2)思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それらを他者に伝えている。また，個人生活における健康に関する課題を発見し，その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに，それらを他者に伝えている。	実技テスト・筆記テスト ノート
(3)主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習プリント

4．年間指導計画
・授業時数　　105 時間
・教科書　　最新中学校保健体育（大修館書店）
・副教材　　ステップアップ中学体育

第１学年（男子）　保健体育科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	7	体育分野	A体つくり運動	1.2年	ア、イ	体つくり運動	・自分の体の状態や変化に気付き、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。 ・体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用する。 ・体ほぐしの運動の意義とその行い方を理解する。	○知識 ・体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などについて理解することができる。	・自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・体つくり運動に積極的に取り組もうとするとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
6～7月	6	体育分野	C陸上競技	1.2年	イ	走り幅跳び	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目のルール、競技や審判の方法を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
6～7月	6	体育分野	B器械運動	1.2年	イ	鉄棒運動	・技がよりよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを感じる。 ・練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、自己や仲間の技のできばえを評価する。 ・習得した技を繰り返したり、条件を変えて行う。 ・器械運動の楽しみ方や学習の進め方、技の系統性や発展性を理解する。	○知識 ・器械運動について，技ができる楽しさや喜びを味わい，技の名称や行い方，運動観察の方法，体力の高め方などについて理解することができる。 ○技能 ・鉄棒運動では，支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	・技などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・器械運動に自主的に取り組もうとするとともに，よい演技を讃えようとすること，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全に確保したりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
5～7月	10	体育分野	D水泳	1.2年	ア	クロール	・続けて長く泳いだり、速く泳いだり、あるいは、競い合ったりする水泳の楽しさや喜びを感じる。 ・続けて長く泳いだり、速く泳いだりするための目標記録や課題を設定する。 ・泳法の特性に応じた技能を活用して泳ぐ。 ・競技やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・水泳について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・水泳に積極的に取り組もうとするともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。	
8～9月	10	体育分野	Gダンス	1.2年	イ	フォークダンス	・互いの動きのよさ、感じ方や表現のよさなどを認め合って、誰とでも楽しく踊る。 ・テーマに合った動きを構成したり、踊り方の課題をとらえたり、動きに変化を付けて踊る。 ・みんなで動きを合わせる、調子を合わせるなど、仲間とのかかわりをもって踊る。 ・ダンスは、集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や、学習の進め方を理解する。	○知識 ・ダンスについて，感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・ダンスに積極的に取り組もうとするとともに，仲間の学習を援助しようとすること，交流などの話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
9～10月	13	体育分野	E球技	1.2年	イ	ネット型 テニス	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
11～12月	12	体育分野	B器械運動	1.2年	ア	マット	・技がよりよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを感じる。 ・練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、自己や仲間の技のできばえを評価する。 ・習得した技を繰り返したり、条件を変えて行う。 ・器械運動の楽しみ方や学習の進め方、技の系統性や発展性を理解する。	○知識 ・器械運動について，技ができる楽しさや喜びを味わい，器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・マット運動では，回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	・技などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・器械運動に積極的に取り組もうとするとともに，よい演技を認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
12～1月	10	体育分野	C陸上競技	1.2年	ア	長距離走	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目の特性や自分の能力に適した練習の方法や、競技の仕方を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・長距離走では，ペースを守って走ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	
1～2月	12	体育分野	E球技	3年	ア	ゴール型 サッカー	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
通年	3	体育分野	H体育理論	(1)		運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの必要性と楽しさ ・運動やスポーツへのかかわり方 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方	・運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解する。 ・運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解する。 ・世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したりすることが大切であることを理解する。	・運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解することができる。 ・運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解することができる。 ・世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したりすることが大切であることを理解することができる。	・運動やスポーツが多様であることについて，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに，他者に伝えることができる。	・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。	
4～6月	4	保健分野	(1)	ア(ア)，(イ)，イ	1年	調和のとれた生活 ・健康の成り立ち ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	・健康は，主体と環境の相互作用のもとに成り立っていること。また，疾病は，主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生することを理解する。 ・健康の保持増進には，年齢と生活環境等に応じた運動が必要なことを理解する。 ・健康の保持増進には，年齢や生活環境等に応じた食事が必要なことを理解する。 ・健康の保持増進には，年齢と生活環境等に応じた休養及び睡眠が必要なことを理解する。	・健康は，主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また，疾病は，主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解することができる。 ・健康の保持増進には，年齢，生活環境等に応じた運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解することができる。	・調和のとれた生活について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。	・調和のとれた生活についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7～3月	12	保健分野	(2)	ア、イ	1年	心身の発達と心の健康 ・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発育・発達 ・生殖にかかわる働きの成熟 ・性への関心と行動 ・知的機能・情意機能の発達 ・社会性の発達と自立 ・自己形成 ・欲求とその充足 ・心と体のかかわりとストレス ・ストレスへの対処のしかた ・リラクセーションの方法（実習）	・身体には，多くの器官が発育・発達する時期があり，その時期や程度には個人差があることを理解する。 ・呼吸器・循環器は思春期に発育・発達し，運動やスポーツがそれをうながすことを理解する。 ・思春期には，内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することを理解する。 ・思春期には，生殖機能の成熟にともなう変化に対応した，適切な行動が必要となることを理解する。 ・知的機能，情意機能，社会性などの精神機能は，生活経験や学習などの影響を受けて発達することを理解する。 ・思春期には、家族関係や友人関係によって社会性が育まれ、自立しようとする傾向が強くなることを理解する。 ・思春期においては，自己の認識が深まり，自己形成がなされることを理解する。 ・欲求にはさまざまな種類があり，その実現に取り組んだり，欲求不満に対して対処する必要があることを理解する。 ・心と体は，密接な関係にあり，相互に影響を与え合っていることを理解する。 ・心の健康を保つには，欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解する。 ・リラクセーションの方法を理解する。	・身体には，多くの器官が発育し，それに伴い，様々な機能が発達する時期があること。また，発育・発達の時期やその程度には，個人差があることを理解することができる。 ・思春期には，内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また，成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解することができる。 ・知的機能，情意機能，社会性などの精神機能は，生活経験などの影響を受けて発達すること。また，思春期においては，自己の認識が深まり，自己形成がなされることを理解することができる。 ・精神と身体は，相互に影響を与え，関わっていること。欲求やストレスは，心身に影響を与えることがあること。また，心の健康を保つには，欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに，それらに対処する技能を身に付けることができる。	・心身の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。	・心身の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

技術・家庭科（技術分野）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
技術・家庭科【技術分野】
第１学年

１．教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ，生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	（知識・技能）
(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)技術分野として習得を目指す知識及び技能が，生活や社会で利用されている技術の仕組みと関係する科学的な原理・法則の基礎的な理解，技術を安全・適切に活用する技能，及び生活や社会，環境との関わりを踏まえた技術の概念の理解である	（知識・技能）
(2)技術分野として育成を目指す思考力，判断力，表現力等が，生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだし，課題を設定して解決策を構想し，製作図や回路図，計画表等に表現して試行錯誤しながら具体化し，実践を評価・改善することのできる力である	（思考・判断・表現）
(3)技術分野として育成を目指す学びに向かう力，人間性等が，安心，安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために，主体的に技術に関わり，技術を工夫し創造しようとする実践的な態度である	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会,環境との関わりについて理解している。	定期考査、作品
(2)思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査、作品、プリント、レポート

(3)主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，技術を工夫し創造しようとしている。	定期考査、プリント、レポート

4．年間指導計画

・授業時数　　70 時間

・教科書　　開隆堂「技術・家庭　技術分野」

・副教材　　正進社「技術・家庭ノート　技術分野」

第１学年　　技術・家庭科【技術分野】

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	2	ガイダンス	(1)	イ		技術分野で学ぶこと 技術を見つけよう 技術と私たちの生活 学習の見通しを持とう	○技術の見方・考え方を知る。 ○社会や生活に生かされている技術や日本で受け継がれてきた技術に関心をもち、技術が生活や産業に及ぼしている影響に気づくとともに、技術の進歩による新たに発生した問題とその解決のために技術が果たす役割を知る。		生活との関わりに気づき、技術はどのような役割があるか考えることができる。	進んで技術にかかわり、主体的に理解し、知識・技能を身に着けようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	気温等をみて、適した時期に行う。
５月	2	D情報	(1)	(3)	ア	情報とコンピュータ	○コンピュータを構成する要素について、種類と役割を知る。	情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。			
６月～8月	2		(2)	イ		情報の表現と伝達	○情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりするしくみを知る。 ○情報のデジタル化のしくみを知る。 ○情報の表現手段と特徴を知る。 ○情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を知る。	メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。			
	5		(2)	(3)	イ	プログラミング（実習）	○計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。（3時間） ○双方向性のあるコンテンツを利用した問題解決の手順を知る。（4時間）	情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。	どのように命令を出すことで問題が解決できるか考えることができる。		
９～12月	5		(1)	(2)		画像加工（実習）	○画像のデジタル加工方法を知り、加工技術を身につける。	デジタル作品を適切な方法を選んで製作できる。	加工の仕方を工夫し、またどのようにすれば完成度が上がるか考えることができる。		
	5		(2)	(3)	ア	情報通信ネットワーク（実習）	○情報通信ネットワークで情報をやりとりするしくみがわかるようになる。 ○HTMLとCSSを使用し、WEBページのしくみがわかるようになる。	情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。			
1月～2月	5		(1)	(2)	(4)	情報セキュリティと情報モラル	○情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知る。 ○情報モラルの必要性と、情報を収集・発信するときに注意することを知る。 ○情報社会で人権などの権利を尊重する必要性を考える。 ○知的財産を保護する必要性と利用方法を知り、適切に利用できるようになる。 ○情報の取扱いについて、心がけることがわかり、実践できるようになる。	情報セキュリティにかかわる基礎的な仕組みを説明できる。 情報モラルの必要性と情報を発信するときの注意点について説明できる。			
	4		(2)			パソコンの基本操作（実習）	○パソコンの基本操作方法を知り、保存や文字入力など目的に合わせて利用できるようになる。	情報機器を適切に使用することができる。			
2月～3月	4	B生物の育成	(2)	ア	イ	生活や社会と生物育成の技術	○生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割に気づく。 ○様々な作物の栽培方法の違いについて、特徴が分かるようになる。 ○作物を水耕栽培で作物を育てられるようになる。 ○作物・家畜を育てるときの環境について知る。 ○作物の栄養管理について、肥料の三要素が言えるようになる。 ○良い土の構造と悪い土の構造について説明できるようになる。 ○昔と今とでどのように品種改良されたかわかるようになる。 ○動物や水産生物の育成で気を付けることがわかるようになる。 ○作物や家畜について、それぞれの特徴や育て方を調べる。	生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術のしくみを説明できる。	生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、最適化されてきたことに気付くことができる。		
	1		(4)	ア	イ	学習のまとめ	○技術の学習を振り返り、技術の見方・考え方について考える。	これまでの学習内容と社会とのつながりを説明できる。			

技術・家庭科（家庭分野）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
技術・家庭科【家庭分野】
第１学年

１．教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験 的な活動を通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造する資質・ 能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)家族，家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協議し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解し，それらに係る技能 を身に付けさせる。	（知識・技能）
(2)これからの生活を展望し，家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題解決の方法を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。	（思考・判断・表現）
(3)家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践する姿勢を身につけさせる。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め，生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	定期考査、被服製作
(2)思考・判断・表現	これからの生活を展望し，家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査、レポート等
(3)主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている	自己評価シート ふりかえりシート等

4．年間指導計画

・授業時数　　35 時間

・教科書　　開隆堂　技術・家庭科【家庭分野】生活の土台　自立と共生

・副教材

第１学年　　技術・家庭科【家庭分野】

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	2	家族　家庭生活	A	(1)		家庭分野のガイダンス	・小学校家庭科の学習をふり返るとともに，３学年間の学習内容の見通しをもつ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・家族とのかかわりについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
５月・６月	4	家族　家庭生活	A	(1)		自分の成長と家族・家庭生活	・自分の成長と家族や地域の人びととのかかわりと自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え，家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。	・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 ・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・家族とのかかわりについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのかかわりについて，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	
７月	2	家族　家庭生活	A	(2)	ア	自分の成長と家族・家庭生活	・家族には互いの立場や役割があり，協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。	・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	・家族とのかかわりについて解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・よりよい家庭生活の実現に向けて，家庭生活について工夫し創造し，実践しようとしている。	
８月・９月	6	衣生活	B	(4)	ア	目的に応じた衣服の選択	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服の文化に関心をもち，和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。 ・既製服を選ぶポイントがわかる。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を生かす着用について理解している。 ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の選択について，解決策を構想し，実践を評価 ・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・衣服の選択について，課題の解決に主体的に取り組もうとしていろ。 ・よりよい生活の実現に向けて，衣服の選択について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
10月・11月	6	衣生活	B	(4)	アイ	日常着の手入れと保管	・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり，適切な手入れができる。 ・取扱い表示の意味を理解し，衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び，適切な量を使用できる。 ・衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ・衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに，適切にできる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに，適切にできる。	・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 ・日常着の手入れについて解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・日常着の手入れについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて，日常着の手入れについて，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
12月～２月	12	衣生活	B	(5)		生活を豊かに 実践するものの製作	・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て，手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに，用具を安全に取り扱い，製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し，生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて，生活を豊かにするための布を用いた製作について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
３月	3	衣生活	B	(4) (5)		持続可能な衣生活	・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。	・持続可能な衣生活を目指して，衣服計画を立て，衣服の活用や管理の方法を工夫する。	・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した衣生活について考え，工夫している。	・よりよい衣生活を目指して，衣服の選択や手入れ，製作などについて，工夫し創造し，実践しようとしている。 ・自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。	

外国語（英語）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
外国語科【英語】
第１学年

１．教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)コミュニケーションを行う場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)言語の使用場面や働きを正しく理解し，コミュニケーションにおける活用できる技能を身に付けられるように指導を行う。	（知識・技能）
(2)身に付けた言語を活用し，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について，表現したり，伝え合ったりできるように指導を行う。	（思考・判断・表現）
(3)言語の使用場面，相手意識を意識したコミュニケーションを行う場面を明確にし，主体的に学習したことを活用できるように指導を行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	定期考査，単元テスト，パフォーマンステスト，学習の取り組みなど
(2)思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	定期考査，単元テスト，パフォーマンステスト，学習の取り組みなど
(3)主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	学習の取り組み，活動の観察，学習の振り返りなど

４．年間指導計画

・授業時数　　175 時間

・教科書　　NEW HORIZON English Course 1, NEW HORIZON English Course2　東京書籍

・副教材　　教科書準拠問題集、文法問題集等

第１学年　　外国語科【英語】

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	15	(4)話すこと（発表）	ア			Unit1 Hello, Everyone! ・自己紹介をする。	自己紹介のスピーチ原稿をもとに自分のことをクラスメイトに具体的に発表をする。	・［知］：be動詞や一般動詞の用法を理解することができる。 ・［技］：自分のことについて、説明文を書く技能を身に付けることができる。	自分のことについて、わかりやすい英文を用いて発表する。	自分のことについて、分かりやすい英文を用いて発表しようとしている。	be動詞、一般動詞
５月	15	(3)話すこと（やりとり）	イ			Unit2 Our New Teacher ・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	・［知］：助動詞can，疑問文を用いた英文を理解することができる。 ・［技］：質問や応答をしながら会話を続ける技能を身に付けることができる。	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりしようとしている。	he / she I can / Can you?
６月	15	(3)話すこと（やりとり）	ア			Unit3 Our School ・知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。	・知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。	・［知］：疑問詞の用法を理解することができる。 ・［技］：疑問詞の用法を理解し、自分の知りたいことをたずねたり、応答することができる。	疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。	疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。	what/ who / how / when / where / 前置詞
７月	12	(3)話すこと（やりとり）	イ			Unit4 Friends in New Zealand ・数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。	・数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。	・［知］：How many …? や What＋名詞 …? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：How many …? や What＋名詞 …? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時刻、することなどについてたずねたり答えたり、指示や助言をしたりする技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしようとしている。	how many / what time / what＋名詞 / 命令形
	5	(2)読む	イ			Stage Activity 1 “All about Me” Poster 自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。	自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。	・［技］：自分が好きなことについて、Unit 4までの学習事項を用いて、つながりのある文章を書く技能を身につけている。	自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章でポスターを書いている。	自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章でポスターを書こうとしている。	複数形
８月 ９月	15	(3)話すこと（やりとり）	イ			Unit 5 My Brother in Hawaii 自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。	自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。	・［知］：］三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	３人称単数現在形

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
９月 １０月	15	(3)話すこと（やりとり）	ア			Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. 自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。	自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。	・［知］：代名詞や疑問詞whose、whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：　代名詞や疑問詞whose、whichを用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	代名詞
１０月	12	(5)書く	ウ			Unit 7 An Online Tour of the U.K. 今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。	今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。	・［知］：現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：現在進行形を用いた文や感嘆文の理解をもとに、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につけている。	相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面でしていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話している。	相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面でしていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話そうとしている。	現在進行形
１１月	3	(2)読む	イ			Unit 8 Think Globally, Act Locally したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。	したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。	・［知］：不定詞（名詞的用法）や〈look＋形容詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：不定詞（名詞的用法）や〈look＋形容詞〉を用いた文の理解をもとに、したいことや人やものの様子について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書いている。	世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書こうとしている。	不定詞名詞的用法／第２文型(SVC)
	15	(5)書く	イ			Stage Activity 2 My Hero 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	・［知］：Unit 8までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：好きな有名人やあこがれの人について、Unit 8までの学習事項を用いて、どんな人かを理解したり、その人についてたずねたり説明したりする技能を身につけている。	好きな有名人やあこがれの人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、説明したりしている。	好きな有名人やあこがれの人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、説明したりしようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１２月 １月	22	(4)話すこと（発表）	ウ			Unit 9 Winter Vacation 過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。	過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。	・［知］：一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：一般動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、過去の出来事について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	一般動詞過去形
１月	3	(2)読む	イ			Unit 10 This Year’s Memories 過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。	過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。	・［知］： be動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ....を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：be動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ....を用いた文の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことなどについて伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。	日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書こうとしている。	be動詞 過去形
１月	3	(1)聞く	イ			Stage Activity 3 My Favorite Event This Year 思い出に残った出来事について発表することができる。	思い出に残った出来事について発表することができる。	・［知］：Unit 10までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：一年間で思い出に残った出来事について、Unit 10までの学習事項を用いて発表する技能を身につけている。	一年間で思い出に残った出来事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話している。	一年間で思い出に残った出来事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話そうとしている。	
２月	7	(2)読む	ウ			Let’s Read Gon, the Fox 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	・［知］：that節の用法を理解することができる。 ・［技］：自分の考えをthat節を用いて詳しく書き表す技能を身に付けることができる。	物語を楽しんで鑑賞するために、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりしている。	物語を楽しんで鑑賞するために、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりしようとしている。	
2月	6	(3)話すこと（やりとり）	ウ			Unit 0 My Spring Vacation クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。	クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合うことができる。	・［知］：過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。	
２月	2	(2)読む	イ			Unit 1 What can we experience on a trip? 旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。	旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。	・［知］： 未来を表すbe going toやwillを用いた文、＜showなど＋人＋もの＞、＜call＋A＋B＞の文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：未来を表すbe going toやwillを用いた文、＜showなど＋人＋もの＞、＜call＋A＋B＞の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。	留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	未来形　be going to ／ will ／ 第４文型（SVOO）

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
３月	10	(2)読む	ウ			Unit 2 What is local food? 好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。	好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。	・［知］： 接続詞when、if、 because、 thatを用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・［技］：接続詞when、if、because、 thatを用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。	ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。	ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	接続詞when / if / because / that

特別の教科　道徳

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
道徳
第１学年

１．教科の目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

2．学年の重点目標

集団の中で必要な基本的態度を養う。自主的に考え、進んで物事をやり遂げようとする生活態度を養う。

３．教科の目標を達成するための指導の留意点

道徳的価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、人間としての生き方を深める指導を行う。	（主体的に学習に 取り組む態度）

４．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
生徒の学習状況や、道徳性に関わる成長の様子を継続的に把握する。		個人内評価として見取り，記述により評価する。

4．年間指導計画

・授業時数　　35 時間

・教科書　　明日を生きる Ⅰ 日本文教出版

道徳　　第1学年

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)	学習内容	主体的に学習に取り組む態度	備考
4	1	A4 希望と勇気	・道徳オリエンテーション ・サッカーの漫画を描きたい	たくさんの人の意見から知れることに気づき，広い視野や友人の視点から多面的・多角的に捉えようとしている。	
5	3	B6　思いやり、感謝 C15　よりよい学校生活 B7　礼儀	・人のフリみて ・“村人B”には ・「愛情貯金」をはじめませんか	道徳的な問題に対して自己の考えを他者と共有する中で，理解を更に深めようとしている。	
6	4	C11　公正、公平 B9 相互理解、寛容 A3　向上心、個性の伸長 D19 生命の尊さ	・さかなのなみだ ・言葉の向こうに ・葉っぱの切り絵で見えた道 ・ばあば	新たに客観的な視点を習得する意欲を持てている。	
7	2	D20 自然愛護 A2 節度、礼節	・木の声を聞く ・疾走、自転車ライダー	自分の価値観をしっかりつくり上げ，判断する大切さを身につけようとしている。	
8	2	C12 社会参画、公共の精神 C10 遵法精神、公徳心	・門掃き ・使っても大丈夫？	自己の失敗した経験と教材を結びつけ，どう進むべきなのかを真剣に考えている。	
9	3	B8 友情、信頼 A1 自主・自立、自由と責任 C16 郷土と伝と文化の尊重	・ソウタとミオ ・私らしさって？ ・震災を乗り越えて－復活した郷土芸能－	人間の意志の弱さと向き合ったうえで，よりよく生きたいという意識を持とうとしている。	
10	3	C11 公正、公平、社会正義 C17 さよなら、ホストファミリー C18 国際理解、国際貢献	・どうして？ ・さよならホストファミリー ・違いを乗り越えて	自らの行動をきちんと検証し，改善していこうという意欲を持てている。	
11	4	B6 思いやり、感謝 B9 相互理解、寛容 D20　自然愛護 C12 社会参画、公共の精神	・バスと赤ちゃん ・三人の乗客 ・あらゆるものに神は宿っている ・あったほうがいい？	身の周りにある美しいものを感じ取る心の豊かさを深めようとしている。	
12	3	C10 遵法精神、公徳心 D19 生命の尊さ A5 真理の探究、創造	・ふれあい直売所 ・あふれる愛 ・iPS細胞で難病を治したい	他者とのつながりの中で自分がいることを実感し，授業で学んだことをもう一度捉え直そうとしている。	
1	3	C14 家族愛、家庭生活の充実	・その声は ・ゆうへ－生きていてくれてありがとう ・裏庭での出来事	日常の中でも，大切な価値観について考え続けている。	
2	3	C18 国際理解、国際貢献 D21 オーロラ　－光のカーテン－ A3 向上心、個性の伸長	・おじいさんの1000ドル ・オーロラ－光のカーテン－ ・オアシスの老人	日常生活からも深めるべき価値の捉えなおしができている。	
3	4	C13 勤労 C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 D22 よりよく生きる喜び	・私は清掃のプロになる ・「肝心」のパスガイド ・いつわりのバイオリン ・1年間の振り返り	日常での積み重ねが大事なことを理解しようとしている。	